

令和7年度大蔵小学校学校経営方針

1 兵庫県

基本理念

「兵庫が育む ころ豊かで自立する人づくり」
— 「『絆』を深め、『在りたい未来』を創造する力」の育成— (R6~R10)

2 朝来市

基本理念

「ふるさと朝来で学ぶ 未来を創る人づくり」
～豊かな心を育成する地域総ぐるみの教育の推進～ (R7~R11)

3 大蔵小学校

- (1) 校訓 「強く 明るく のびのびと」
(2) 教育目標 「夢や志をもって、自立して未来を担う大蔵っ子の育成」(～R6)
⇒「夢や志をもって、自立して未来を創る大蔵っ子の育成」(R7～)

大蔵っ子が、校訓「強く 明るく のびのびと」の実現をめざすとともに、ふるさとを愛し、夢や志をもって、未来への道をしなやかに切り拓くことのできる児童を育成する。

めざす子ども像

「持続可能な社会の創り手」となり、自らの「ウェルビーイングの向上」を目指す。

- ・強く：しなやかな心、主体性と勇氣、やり抜く力、勤勉
夢や志の実現に向け、創造性やチャレンジ精神を持つことができる子
主体的に学び、読書や仲間とのやりとりを通して学びを深める子
自己の思いや考えを進んで表現することのできる子
- ・明るく：清く正しい心、丈夫な体、円満な社会性、協力
きまりを守り、元気に活動をしようとする子
支えあい、協力しあい、共に伸びようとする子
- ・のびのびと：ゆとりのある心、思いやりの心、成長していく心
思いやりや寛容な心を持ち、自他のいのちを大切にできる子
ふるさとを愛する心、感謝の心をもって成長できる子
受援力を身に付け、発揮し、社会的自立ができる子、社会的自立を支える子

めざす教師像

「持続可能な社会の創り手」を育成し、

児童や自らの「ウェルビーイングの向上」を目指す。

- ・ 実践的指導力を有し、誇りを持って指導にあたる教師
- ・ 一人一人の児童と向き合い、子どもたちの夢や目標の実現のために情熱をもってかわる教師
- ・ ワーク・ライフ・バランスを保ち、家庭、地域、職業人として自己有用感を持ち、受援力を発揮して活躍する教師

めざす学校像

「持続可能な社会の創り手」を育成し、

子供・学校・家庭・地域・社会の「ウェルビーイングの循環」を目指す。

- ・ 児童、保護者、地域、教師が誇りとする学校
- ・ 児童と教師が受援力を発揮して、心身とも健康で笑顔あふれる学校
- ・ あいさつや歌声の響く学校
- ・ 学校、家庭、地域が一体となり、子どもにかかわる、地域とともにある学校

ウェルビーイング

- 身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。
- 多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じられるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念。
(「第4期教育振興基本計画」2023年～2027年 令和5年6月16日閣議決定 より)

社会的自立

依存しないことや支援を受けないということではなく、適切に他者に依存したり、自らが必要な支援を求めたりしながら、社会の中で自己実現していくという意味
(「生徒指導提要 R4.12 文部科学省」より)

受援力

自分が困った時に助けを求めたり、助けを受け入れたりする心構えやスキルのこと。もとは、災害の時などに「支援を受ける、受け入れる力」という意味で使われる。医師で、神奈川県立保健福祉大学教授 吉田穂波さんが頼む力の大切さを呼び掛けている。「頼ることは相手を信頼し、尊敬する証し」とも訴えている。

参考：『頼るスキル 頼られるスキル ～受援力を発揮する「考え方」と「伝え方」～』

吉田穂波 著 角川新書 2024.6